



人類に  
奉仕する  
ロータリー

創立昭和28年1月8日

# TANABE ROTARY



District 2640 田辺ロータリークラブ Club Weekly Bulletin

2016-17年度  
国際ロータリーテーマ  
「人類に奉仕するロータリー」  
-ROTAR SERVING HUMANITY-  
ジョン F. ジャーム R I 会長  
国際ロータリー第2640地区  
福井隆一郎 ガバナー

### 4つのテスト (FOUR WAY TEST)

- 言行はこれに照らしてから
- (1) 真実かどうか
  - (2) みんなに公平か
  - (3) 好意と友情を深めるか
  - (4) みんなのためになるかどうか

例会日 木曜日 12:30  
例会場 紀伊田辺シティプラザ 3F  
会長 植田 英明  
幹事 柏木 壽夫  
会報委員長 松本 哲  
<http://tanabe-rc.com/>

承認 昭和28年3月2日  
事務所 〒646-0031  
田辺市湊23-6  
TEL 0739-24-2002  
FAX 0739-26-0264  
mail tanabe-rc@helen.ocn.ne.jp



「伏菟野区桜と紅葉の植樹-2月12日-」  
社会奉仕委員会事業

●司会者  
植田英明会長

●ソング  
我らの生業

●ゲスト  
田辺市立美術館学芸員  
三谷 渉 様  
県立田辺高等学校  
和田充可先生  
宮崎理央さん

●ビジター

### 2月23日のプログラム

国際ロータリー第2640地区  
米山記念奨学生

初 朝宜 さん

### 3月2日のプログラム

田辺警察署長  
森 昇治 様

### 出席報告

	第3138回	第3139回	第3140回
会員数	85名	86名	86名
出席規定免除会員数	8名	8名	8名
出席計算会員数	82名	83名	83名
出席者	61名	68名	61名
出席率	74.39%	81.93%	73.49%
メイクアップ	8名	3名	
修正出席率	84.15%	85.54%	

### メイクアップ

2月12日 村上(地区:R財団委員会)  
2月15日 大川(田辺東RC)

### お祝い

会員誕生日 野田  
配偶者誕生日 三前安佐子(洋) 竹本せき子(達也)  
瀬戸宏子(英男)  
結婚記念日 那須

### ニコニコ箱

☆田辺市美術館学芸員三谷渉様、本日は卓話宜しくお願  
い致します。……………植田英、柏木  
☆三谷渉様、本日は卓話よろしくお願  
い致します。(プ  
ログラム委員長)……………中松  
☆三谷渉様、本日はお忙しい中お越しいた  
きありがとうございます。卓話宜しくお願  
いいたします。…白井  
☆田辺市美術館学芸員三谷渉様、本日は卓話  
楽しみにして  
います。……………木村頼、廣本、堅田、近藤、  
柴田、野村、玉置、長井、岩本、橋、瀧本、脇村富、都志見  
☆伏菟野の桜の植樹に寒い中、参加された皆  
さん、お疲  
れ様でした。……………植田英、柏木  
☆2月12日に行われました伏菟野地区の桜の植樹会にた

くさんの方々に参加いただきました。ありがとう  
ございました。……………竹内  
☆伏菟野の桜の植樹に行ってきました。急斜面の作業  
でしたが桜が咲き誇る日が楽しみです。……………  
……………玉井、大木、松本、山路  
☆大木さん、日曜日はシャベルの使い方ご指導ありが  
とうございました。……………山路  
☆インフォーマルミーティングありがとうございました。  
……………三前剛  
☆ゴルフコンペでまたやってしまいました。ハンディ20  
も頂きながらNET63などというヒンシュクスコアで優  
勝してしまい申し訳ございません。……………中田吉  
☆4クラブゴルフ大会、やってしまいました。出会い頭  
で優勝してしまいました。……………長井  
☆都志見君の上達で昨夜は完敗しました。以後も続  
くように?……………渡部  
☆渡部様、田上様、昨晩は楽しい夕食会ありがとうございました。  
……………都志見

### お知らせ

#### 会長報告

- ・2月12日に社会奉仕事業で「伏菟野の明日を考える会」  
の伏菟野区崩落現場への桜と紅葉の木の植樹と寄付  
金の授与を行いました。クラブより13名参加致しま  
した。ありがとうございました。植樹の様子はテレ  
ビなどでも放映されました。
- ・2月12日、村上有司PG・RRFCが地区ロータリー財団委  
員会へ出席されました。

#### 幹事報告

- ・次年度ロータリー手帳(クラブ負担で購入)の申込み  
書を再度回覧します。
- ・地区からの「2017年国際大会・第2640地区ジャパ  
ンナイトへの誘い」とハイライトよねやまが届いて  
いますので回覧します。

## 委員会報告

### 社会奉仕委員会

竹内正巳委員長

- ・2月12日の伏菟野崩落現場での桜と紅葉の植樹にご参加ありがとうございました。
- ・識字率向上運動協賛として、書き損じ葉書、未使用切手、未使用テレホンカード等をお願いします。今週よりポケットコインを行いますのでご協力よろしくお願いします。

### ロータリー情報委員会

廣本喜亮委員長

- ・先週よりインフォーマルミーティング行なっています。今晚の予定の方、宜しくお願い致します。本日のリーダーは玉井会員と住山会員に、記録は松本会員と奥田会員にお願いしています。まとめて頂いた記録につきましては、冊子などの形で残したいと思っておりますので宜しくお願い致します。

## プログラム



### 『戦後の日本画と吉岡堅二』

田辺市立美術館  
学芸員  
三谷 渉 様

本日はご招待をいただき、ありがとうございます。最後までどうぞよろしくお願ひいたします。最近では毎年皆様にお招きいただいております、ここでの卓話も六回目となりました。継続して私たちの美術館の活動にご理解とご支援をいただいておりますことに改めて深く感謝し、この場をお借りしまして厚く御礼を申し上げます。

前回、およそ一年前の卓話の折には、田辺市立美術館が開館20周年を迎えるための改修工事期間中で休館してましたので、分館の熊野古道なかへち美術館の活動についてご説明をいたしました。その際には田辺市立美術館（本館）、熊野古道なかへち美術館（分館）二館体制での運営を行ってゆく上での課題や展望についても触れながらお話をいたしました。今年はちょうど、両館で関連した展覧会を同時に開催して、二館体制の利点を活かす試みをしているところですので、それぞれの展覧会をご紹介します、両館ご利用のご案内が出来ればと思います。

最初にご紹介いたしますのは、熊野古道なかへち美術館で開催している館蔵品展「戦後の日本画」です。田辺市立美術館では、当市の出身で、戦後一貫して新しい日本画の表現を開拓し続けてきた画家、稗田一穂（1920～）の活動を重視し、その作品を積極的に収蔵してきました。現在は30点近くの作品を所蔵していますが、この中から代表的な8点の作品を展示し、また稗田と同じように現代的な日本画の表現を追求した同世代の画家たち、加山又造（1927～2004）、麻田鷹司（1928～1987）の作品を併せて紹介しています。これらの画家がその意欲的な作品を発表し、世に認められる場をつくったのが、1948（昭和23）年に、「我等は世界性に立脚する日本絵画の創造を期す」との綱領を掲げて結成された団体、「創造美術」（現在の「創画会」）です。この「創造美術」

## 青少年奉仕委員会事業

和歌山県立田辺高校 SEEKER

顧問：和田充可先生と宮崎理央さん(2年生)



本年度「青少年奉仕委員会事業・高校生への活動に支援」  
2校目田辺高校SEEKERに支援金を授与致します。



### 《生徒の自主活動～SEEKER～》 (活動指針)

- 1) 「熊野の地から世界を見つめる」をテーマに、国籍や宗教などにとらわれない世界に開かれた地域の在り方を考える。
- 2) 人口減少を迎えた地域における、外国人観光客や在留外国人との交流や調査を通じて多文化共生と持続可能な社会づくりについて考え、高校生だからこそできる地域への貢献活動を行う。
- 3) 上記1) および2) について産官学協働で取り組み、成果を「田辺モデル」として提唱する。

を創立し、その運動を率いてきた画家の一人である奥村厚一（1904～1974）の作品も同時に展覧し、田辺市立美術館のコレクションによって、戦後に展開した日本画の斬新な表現をご覧いただける内容としています。

今触れました奥村厚一につきましては、3年前に田辺市立美術館でおおよそ40年ぶりとなる回顧展を開催し、その折にはこの場でお話する機会もいただきましたので、ご記憶の方がおられるかも知れません。田辺市立美術館ではこの奥村厚一以外にも、戦後間もなく「創造美術」を結成して、日本画の世界を新しい時代のものにしていった画家の芸術を振り返る展覧会を継続して開催してきています。これまで奥村の他に、山本丘人（1900～1986）、上村松篁（1902～2001）をとり上げて来ましたが、今年は、昨年生誕110年を迎えた吉岡堅二（1906～1990）の画業を回顧する特別展を、田辺市立美術館で開催しています。

吉岡は戦前から洋画の表現を取り入れることによって、日本画の革新を牽引していた画家で、戦後の「創造美術」結成にあたって中心的な役割をはたしました。今回は、画家としての歩みを切った初期から最晩年までの代表的な作品約40点を集めることができ、吉岡生前の1988（昭和63）年に開かれた展覧会以来のおおよそ30年ぶりとなる回顧展となっています。

ご紹介いたしました「戦後の日本画」、「生誕110年記念 吉岡堅二展」ともにここだけのオリジナルな展覧会です。また二つの展覧会を併せてご覧いただくことで、ご鑑賞の内容をより深めていただけるのではないかと考えています。ご多用のこととは思いますが、ぜひご来館の機会をいただければと願っています。ご覧いただく私たちの美術館のこうした活動も、皆様の日頃からのお力添えの賜物です。どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。

本日は最後までご清聴くださり真にありがとうございました。